

1年上

うたに あわせて あいうえお

札幌市立星置東小学校 岡島 啓太

単元の特徴(ねらい)とデジタル教科書の活用について

本単元は五十音の基本となる「あいうえお」を学ぶ。唱歌を口形やリズムに気を付けながら音読させたい。かえるの挿絵、口形の画像には、歌の様子を豊かに想像する手がかりや発声の仕方のポイントが盛り込まれている。そこで、デジタル教科書では、本文を「さしえ」と「きく」機能を活用することで、児童の気づきを促し、言葉や音読に興味をもちながら学習に取り組むことができるようにしたい。

指導計画例（全2時間）

学習活動 指導事項/留意点	デジタル教科書活用ポイント
<p>★[1]挿絵から様子を思い浮かべたり、「うたに あわせて あいうえお」を音読したりする。</p> <p>・「あ、い、う、え、お」の挿絵を提示して読み方を確認する。</p> <p>・「うたに あわせて あいうえお」を聞き、様子を思い浮かべる。</p> <p>・「うたに あわせて あいうえお」を音読する。</p>	<p>・「さしえ」</p> <p>・「きく」</p> <p>・「さしえ」</p> <p>・「きく」</p> <p>・「さしえ」</p>
<p>[2]「あ、い、う、え、お」の字を書き、これまでに習った文字を使って言葉集めをする。</p> <p>・「あ、い、う、え、お」の筆順を確認しながら、書く。</p> <p>・これまでに習ったひらがなを使って言葉集めをする。 今まで習ったひらがなは「い、ち、ね、ん、あ、う、え、お」</p>	<p>・「えんぴつと なかよし」の二次元コードで動画再生 「えんぴつのもちかた」「じをかくしせい」</p> <p>・まなぶ「ひらがな・かたかな」</p>

★15分の指導案

【本時のめあて】

姿勢、口形、リズムに気を付けて音読することができる。

【評価】

姿勢、口形、リズムに気を付けて「うたに あわせて あいうえお」を音読しようとしている。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例 (数字は学習活動の番号)
<p>導入</p> <p>① 「あ、い、う、え、お」の読み方を確認する。</p>	<p>◇デジタル教科書の「さしえ」を使い、ひらがなの画面を見せながら読み方を確認する。</p>	<p>「さしえ」を使って、画面にひらがなを表示する。 (①)</p> 
<p>展開</p> <p>②「うたに あわせて あいうえお」を聞き、様子を思い浮かべる。</p> <p>③「うたに あわせて あいうえお」を音読する。</p>	<p>◇デジタル教科書の「きく」を使い、朗読を聞かせる。児童から歌を聞いて思い浮かぶ様子や気づくことを考えさせる。「あ、い、う、え、お」が使われて歌ができている面白さに気づかせたい。</p> <p>◇デジタル教科書の「さしえ」を使い、かえるの挿絵の画面を見せながら、児童の気づきを学級全体で共有しやすいようにする。</p> <p>◇デジタル教科書の「きく」を使い、朗読に続いて音読させる。その際は、「かんかく」をあり、「はやさ」をマイナスに設定したうえで、児童が続けて音読しやすいようにする。</p>	<p>「きく」を使って、朗読を再生する。(②)</p>  <p>「さしえ」を使って、挿絵を表示する (②)</p>  <p>「きく」を使って、朗読に続いて音読する。 (③)</p>

<p>④口形を確認しながら音読する。</p> <p>⑤いろいろな読み方で音読をする。</p>	<p>◇「あ、い、う、え、お」のそれぞれの口形を「さしえ」を使って確認しながら音読する。</p> <p>◇いろいろな読み方で音読をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ・・・大きい、小さい ・読む速さ・・・速い、ゆっくり ・掛け合い・・・教師と児童、席の隣同士 ・声の表情・・・楽しそうに、悲しそうに ・動きを付けて・・・掛け合いで読むときは立つ、読まない時はしゃがむ <p style="text-align: right;">など</p> <p>◆学習活動④⑤の中で児童が姿勢、口形、リズムに気を付けて音読しようとしているか評価する。</p>	 <p>「さしえ」を使って、口形の写真を拡大して口形を確認する。(④)</p>  <p>「きく」の読み上げる速さを変えて音読させることもできる。(⑤)</p> 
<p>まとめ</p> <p>今日の学習について振り返る。</p>	<p>◇最後にもう一度、音読させることで、姿勢や口形、リズムに気を付けて音読できたか確認する。</p>	